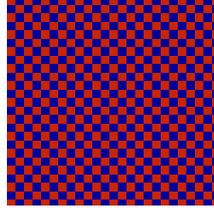


2024 大統領選シリーズ

第3弾



同志社大学烏丸キャンパス
志高館SK112 教室

「大統領選を振り返る」

2025年1月16日 (THU.), 16:40 - 18:10

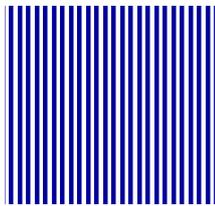
近年のアメリカ社会の分極化には、気候変動、国際情勢、格差拡大、国内人口構成やジェンダー関係などの変化が影響しており、2024年大統領選挙でも激しい論戦となった。本連続講座ではこれまで、アメリカ研究所関係教員が、憲法・最高裁、移民・マイノリティという選挙戦の議論の底流をなしてきた論点を、アメリカ政治・社会の構造から掘り起こして解説してきた。最終回となる2025年1月の講座では、2024年11月の大統領選挙の結果について分析・考察を試みる。

✓ 講演: 「なぜヒスパニックは
トランプに投票するようになったのか」

講師: 飯田 健 (法学部・教授)

2024年大統領選挙において、共和党候補者ドナルド・トランプは、獲得した選挙人の数だけでなく、一般得票率でも民主党候補者カマラ・ハリスを上回った。その主な原因はヒスパニック系の有権者がトランプに投票する傾向を強めたことにある。本報告では大統領選前後に本研究所部門研究で実施したアメリカ人有権者調査のデータを用いて、ヒスパニック系の有権者が経済評価や女性嫌悪によってではなく、不法移民に対する反感によりトランプに投票したことを示す。

✓ 総合討論: 飯田 健



第1弾登壇者 「大統領選とアメリカ憲法・最高裁」

桧垣 伸次 / 和泉 真澄 / 川鍋 健

(法学部・教授)

(GR学部・教授 /
アメリカ研究所所長)

(アメリカ研究所・助教)

第2弾登壇者 「大統領選と移民・マイノリティ」

南川 文里 / 小野 直子 / 石黒 安里

(GS研究科・教授 /
アメリカ研究所研究主任)

(文学部・教授)

(アメリカ研究所・助教)

